

島根益田信用組合の経営内容について 《平成25年度上期の業績と仮決算》



<コーポレートスローガン> 愛される信用組合を目指します

~ おつきあい まごころで ~



海岸清掃活動 持石海岸(益田地区) 国府海岸 (浜田地区)

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組 合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、 持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同 組織金融機関として組合員皆様の社会的・経済的地位の向上に役立 つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めています。



職業人講話講師(理事長)









[うきは白壁] [吉野ヶ里遺跡公園] [九州国立博物館] [南 蔵 当組合で年金を受給されている皆様等で組織され、年1回の旅行を 実施しております。

25 年度(H25. 10. 22~H25. 10. 23) 友の会旅行

一 吉野ヶ里遺跡から城下町うきはの街並みを散策する福岡・佐賀の旅 一



後継者塾講師派遣



三輪車4時間耐久レース



しんくみの日週間 9月3日 献血運動 9月7日 各支店カーブミラー清掃









ごあいさつ

皆様方には、日頃より島根益田信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。 本年もここに「島根益田信用組合の経営内容について(ミニディスクロージャー誌)」を作成いたしましたので、 ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。 当組合は、信用組合の特性を発揮し、地域社会とのふれあい・絆を大切にしております。

今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

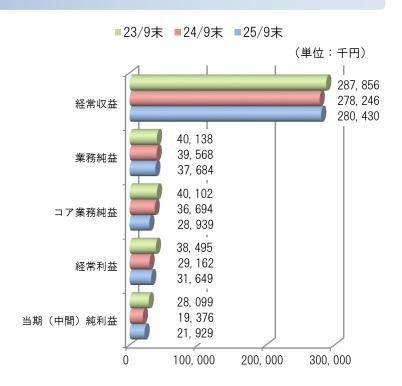
島根益田信用組合 理事長 大畑寬明

1. 損益の状況

売上高にあたる経常収益は、市場競合等による 貸出金利の低下に伴い資金運用収益は減少し たものの債券売却益等の増加により、前年同月 比2百万円増加(0.78%)して2億80百万円とな りました。

費用の面では、総与信費用はほぼ前年同月並み でしたが業務費用に含まれる一般貸倒引当金 は前年同月比3百万円増加した事から業務費用 は 2 百万円増加(1.16%)となりました。個別貸 倒引当金は前年同月比3百万円減少した事によ り、経常費用2億48百万円(△0.12%)はほぼ 前年同月並みとなりました。それにより、業務 純益 前年同月比 1 百万円減少(△4.76%)の 37 百万円・コア業務純益 前年同月比7百万円減 少(△3.18%)の 28 百万円と減少致しましたが、 経常利益は前年同月比 2 百万円増加(0.78%)の 31 百万円 となりました。

以上の結果から、最終的な純利益については、 前年同月比 2 百万円増加(13.17%)して 21 百万 円となり、平成 25 年 9 月末の仮決算は増収増 益となりました。

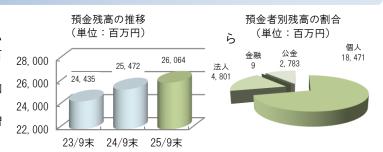


2. 預金・貸出金の状況

(1)預金

預金残高は、平成 24 年 9 月末 25, 472 百万円か 592 百万円増加し、平成 25 年 9 月末 26,064 百 万円となりました。

預金残高の増加は、法人預金 627 百万円の増加 に加え、地域のお客様からの信頼、信用のバロ メーターともいうべき個人預金が489百万円増 加と好調に推移しております。



(2)貸出金

貸出金残高は、平成 24 年 9 月末 15. 795 百万円か ら 228 百万円増加し、平成 25 年 9 月末 16,023 百 万円となりました。

貸出金残高の増加は、公金が584百万円減少 したものの、事業先に対する新規訪問活動を 積極的に行い、創業や設備投資等の資金ニー ズに対応したことから、法人貸出は650百万 円増加、個人貸出についても、マイカーローン

貸出残高の推移 貸出先別残高の割合 (単位:百万円) (単位:百万円) 16, 127 15, 795 16, 023 18,000 公金 個人 1, 152 6, 394 16,000 14,000 12, 000 23/9末 24/9末 25/9末 8, 477 が好調であった事などから162百万円の増加となりました。

引き続き、地域経済の発展に繋がる融資を目標に、貸出金の増強に取組んで参ります。

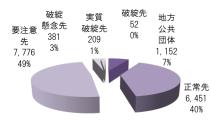
貸出金業種別残高・構成比

(畄位		五上田)
	•	ロハロハ

						残高	構成比
製		造			業	847	5. 3%
農	業	`	杉	†	業	207	1. 3%
漁					業	9	0. 1%
鉱;	業、採石	業、	砂利	採取	業		
建		設			業	2, 834	17. 7%
電気	気、ガス.	、熱信	共給、	水道	重業	39	0. 2%
情	報	通	信	Ī	業	38	0. 2%
運	輸業	`	郵	便	業	465	2. 9%
卸	売 業	`	/]\	売	業	1, 981	12. 4%
金	融業	`	保	険	業	250	1. 6%
不	動		産		業	701	4. 4%
物	品	賃	貸	Ì	業	3	0. 0%
学徒	所研究、専	門・技	技術サ	ービス	ス業		
宿		泊			業	57	0. 4%
飲		食			業	530	3. 3%
生剂	舌関連サ	ービス	ス業、	娯犭	業	86	0. 5%
教	育、	学 翟	支	援	業	266	1. 7%

							残高	構成比
医	療	₹	`	1	湢	祉	155	1.0%
そ	の	他	サ	_	ビ	ス	1, 547	9. 7%
そ	の	他		の	産	業	93	0. 6%
地	方	公	共	団	体	等	1, 152	7. 2%
個人	(住:	宅、氵	費、	納稅	資金	等)	4, 756	29. 7%
		合		計			16, 023	100.0%

債務者区分別貸出金(単位:百万円)



※債務者区分とは、債務者の財政状態、資金繰り、収益力の状況等により、その返済能力を検討し、債務者を「正常先」「要注意先」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」の5段階に区分したもの。

3. 財産の状況

資産・負債及び組合員勘定

(単位:千円)

資 産 の 部	24年9月末	25 年 9 月末	負 債 の 部	24年9月末	25 年 9 月末
現金	343, 432	329, 046	預金	25, 472, 785	26, 064, 394
預 け 金	8, 951, 295	9, 113, 067	当座預金	173, 684	345, 539
有 価 証 券	2, 038, 523	2, 290, 898	普通預金	7, 744, 085	7, 908, 157
国債	531, 019	424, 655	貯蓄預金	55, 888	58, 729
地方債	_	_	通知預金	13, 150	10, 200
短 期 社 債	_	_	定期預金	16, 287, 172	16, 301, 879
社 債	1, 124, 956	1, 537, 186	定期積金	1, 171, 651	1, 287, 913
株式	82, 083	122, 026	その他の預金	27, 152	151, 974
その他の証券	300, 465	207, 031	借用金	_	_
貸 出 金	15, 795, 144	16, 023, 382	その他の負債	78, 789	83, 240
割引手形	72, 525	98, 640	賞 与 引 当 金	9, 455	9, 915
手 形 貸 付	138, 560	237, 600	退職給与引当金	72, 365	76, 541
証 書 貸 付	13, 972, 739	14, 159, 251	役員退職慰労引当金	19, 526	22, 402
当座貸付	1, 611, 319	1, 527, 889	その他の引当金	1, 855	2, 178
その他資産	209, 920	297, 261	債 務 保 証	17, 450	13, 167
有形固定資産	153, 524	139, 073	負債の部合計	25, 672, 229	26, 271, 839
無形固定資産	5, 007	4, 929			
繰 延 税 金 資 産	69, 279	55, 523	純資産の部		
債 務 保 証 見 返	17, 450	13, 167	出 資 金	224, 202	224, 961
貸 倒 引 当 金	△221, 571	△222, 133	利益剰余金	1, 463, 969	1, 505, 748
(うち一般貸倒引当金)	(△86, 840)	(△90, 942)	評価・換算差額等	1, 609	41, 668
(うち個別貸倒引当金)	(△134, 731)	(△131, 191)	純資産の部合計	1, 689, 780	1, 772, 377
資産の部合計	27, 362, 009	28, 044, 217	負債及び純資産の部合計	27, 362, 009	28, 044, 217

損益

科目	24 年 9 月末	25 年 9 月末
経 常 収 益	278, 246	280, 430
業務収益	277, 862	278, 748
資金運用収益	266, 665	258, 087
(うち貸出金利息)	(224, 645)	(216, 474)
役務取引等収益	11, 151	11, 605
その他業務収益	46	9, 055
臨 時 収 益	384	1, 682
経常費用	249, 084	248, 781
業 務 費 用	238, 294	241, 063
資金調達費用	14, 569	14, 556
(うち預金利息)	(14, 507)	(14, 471)
役務取引等費用	27, 764	27, 165
一般貸倒引当金	△2, 874	205
経 費	198, 834	199, 136
臨 時 費 用	10, 789	7, 717
経 常 利 益	29, 162	31, 649
業 務 純 益	39, 568	37, 684
コア業務純益	36, 694	28, 939
特 別 利 益	-	-
特 別 損 失	212	-
税引前当期純利益	28, 950	31, 649
法人税・住民税及び事業税	9, 681	12, 034
法 人 税 等 調 整 額	△107	△2, 314
当期(中間)純利益	19, 376	21, 929

諸利回・諸比率

	24年9月末	25 年 9 月末	
資金運用利回	1. 99%	1. 91%	
貸出金利回	2. 87%	2. 74%	
預け金利回	0. 52%	0. 48%	
有価証券利回	1. 56%	1. 52%	
資 金 調 達 原 価 率	1. 68%	1. 68%	
預 金 利 回	0. 11%	0. 11%	
総資金利鞘	0. 31%	0. 23%	
預 貸 率 (末残)	62. 00%	61. 47%	
(平残)	61. 92%	62. 15%	
預 証 率 (末残)	8. 00%	8. 78%	
(平残)	7. 45%	8. 47%	

有価証券の時価情報

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	取得金額	差額
株式	122	118	3
債 券	2, 168	2, 115	53
国 債	424	400	24
地方債	_	_	_
短期社債	_	_	_
社 債	1, 537	1, 515	22
その他	207	199	7
合 計	2, 290	2, 233	57
()) \r /\tau \ 0 \ \ \ -	l	## 1 - ## - * 1	1

(注)時価は、9月末日における市場価格等に基づいています。 なお、その他は「外国証券」となっています。

4. 自己資本の状況

自己資本比率は、24 年 9 月末の 15.48%から 1.10%低下し、25 年 9 月末 14.38%となりました。

国内で業務を行う金融機関の基準である4%の3倍以上という高い水準を維持しているのみならず、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である8%をも大きく上回る高い水準となっております。

		单	单位:百万円
	24/9末	25/3 末	25/9末
自己資本比率 (A)/(B)×100	15. 48%	15. 14%	14. 38%
自己資本額(A)	1, 759	1, 781	1, 809
基本的項目(Tier1)	1, 688	1, 708	1, 730
有価証券評価損(△)	-	<u> </u>	<u>—</u>
補完的項目(Tier2)	71	73	78
補完的項目不算入額(△)	15	17	12
リスク・アセット等計 (B)	11, 361	11, 764	12, 579

5. 不良債権の状況

単位:百万円

金融再生法で定められた開示債権 額は、24年9月末の756百万円から30百万円減少し、25年9月末 726百万円となりました。

総債権額に占める開示債権額の割合(不良債権比率)については、 不良債権額の減少によって、24年 9月末 4.78%から 0.26%低下し、 25年9月末 4.52%となりました。

なお、25年9月末の開示債権額726 百万円は担保、保証等、引当金に よる保全額710百万円によって、 その債権額の97.79%はカバーさ れております。

	24/9 末	25/9末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	163	274	111
危険債権	500	381	△119
要管理債権	92	70	△ 22
開示債権 計 A	756	726	△ 30
正常債権	15, 069	15, 323	254
슴 計	15, 825	16, 049	224
担保·保証等 B	593	575	△ 18
貸倒引当金 C	141	135	Δ 6
保全額合計 D = B + C	734	710	△ 24
担保、保証等、引当金による保全率D/A	97. 08%	97. 79%	0. 71%
総債権額E	15, 825	16, 049	224
不良債権比率 A / E	4. 78%	4. 52%	△0. 26%

6. 金融円滑化の状況

中小企業金融円滑化法は平成25年3月末をもって終了致しましたが、当組合では同法終了後も従来からの方針に変更はなく、引続き、事業資金のご融資をご利用いただいている中小企業者のお客さまが、不安定な経済情勢の影響等によりご返済が困難となった場合や、当組合で住宅ローン等をご利用いただいているお客さまが、勤務先の業績悪化等のご事情により収入が減少し返済が困難となった場合には、当組合の本部と各営業店の「金融円滑化相談等窓口」等において、返済方法の見直し等のお申込み・ご相談に適切な対応を行っております。なお、平成21年12月から平成25年9月末までの金融円滑化の実施状況は、以下のとおりとなっております。

貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の額(上段:百万円)と数(下段かっこ内:件)

[債務者が中小企業者である場合]

[債務者が住宅資金借入者である場合]

	22/3	23/3	24/3	25/3	25/9
貸付けの条件の変更等の	594	2, 356	3, 651	4, 874	5, 656
申込みを受けた貸付債権	(84)	(299)	(468)	(630)	(706)
うち、実行に係る貸	502	2, 249	3, 500	4, 741	5, 493
│ │ 付債権	(72)	(285)	(449)	(616)	(689)
うち、謝絶に係る貸	24	45	90	90	90
付債権	(2)	(9)	(11)	(11)	(11)
うち、審査中の貸付	33	21	17	0	31
債権	(9)	(3)	(5)	(0)	(3)
うち、取下げに係る	34	40	42	42	42
貸付債権	(1)	(2)	(3)	(3)	(3)

22/3	23/3	24/3	25/3	25/9
25	49	88	116	134
(5)	(7)	(13)	(14)	(17)
17	41	71	79	97
(4)	(6)	(11)	(12)	(15)
0 (0)	0	0	0	0
	(0)	(0)	(0)	(0)
0 (0)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	0 (0)
8	8	8	37	37
(1)	(1)	(1)	(2)	(2)

島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町 14番 23号 E-mail masushin@beach. ocn. ne. jp

TEL0856-22-3030 FAX0856-23-6250 http://shimanemasushin.com/